学校便り
あけぼの
発行
校長
真喜志　昇
平成30年度
第8号
6月8日

一年生・こども園の交通安全教室実施！

六月五日（火）にこども園で一年生とこども園の子どもたちが一緒に参加して、こ小連携交通安全教室が行われました。

当日は、那覇警察署の與那嶺貴之さん、安全協会の山崎瑛香さん、那覇市生活安全課の池宮城秀昭さん、那覇市交通安全指導員の高江洲和男さんの御協力のもと、次の七つの約束について、わかりやすく説明していました。

①交通安全指導では、道路では遊ばない
②道路にはとびださない
③信号が青でも右見て左見てまた右を見て車が止まってから渡る
④自分の命は自分で守る

また、ビデオで信号機の見方や横断歩道のわたり方等のアニメでわかりやすく見せ、練習させていました。

今年も、子どもたちには『自分の命は自分で守る』を常に自覚させ、曙っ子の安全を見守っていきたいと思います。朝のPTCAの立哨は本当に有り難いです。昨年は放課後一件交通事故がありましたので、今後もよろしくお願いします。

六年生がプール開きで安全祈願！

五月三十一日（木）に、天気に恵まれて子ども達にとって待ちに待ったプール開きが行われました。

これまで、各学年分担してプール清掃を行いきれいにして準備万端に整え、プール開き当日は学校代表として六年生が安全祈願と泳ぎはじめを行いました。

古堅洋平先生から、水泳学習の心得として「プールは楽しい場所でもありますが、一人一人が安全に十分気をつけて学習しないといけない。」等の確認が行われました。

また、家庭でも限られた水泳の時間なので、忘れ物をさせないようにと体調管理の確認をよろしくお願いします。

また、『自分の命は、自分で守る』を合言葉に、自分のめあてを達成に向けて楽しく全力で取り組ませたいと思います。

那覇市ＰＴＡ表彰

那覇市ＰＴＡ連合会から、宮平宮子さんが表彰されました。

交通安全功労者・団体表彰

塩川茂さんとビック開発さんが那覇地区交通安全功労者・功労団体表彰されました。

生活目標

・物や時間を大切にしよう
・うそうかは右側を歩きましょう

『信じる』気持ちがイライラをなくす

「コーチングの専門家」石川尚子コーチングという言葉を聞いたことがありますか。子どもとの対応等に使えると思いますので、石川尚子先生のホームページから紹介します。

「ところでSさん、どうして最近は、キィーッ！ってならなくなったんですか？」と私はSさんに質問しました。

「そうですねー、多分、子どもを信じようと私が思うようになったからだと思います。『この子は自分でできる子だ！　自分なりに考えているはずだ！　何か理由があってやっているんだ』って、こっちがそういう目で見ているから、まず質問して聴いてみようって思えるし、イラッ！とすることもなくなったと思います。『この子は言わないとできない』って思っているから、あれこれ口を出して、よけいに悪化させていたんでしょうね」

この言葉には、コーチングの真髄が、実に端的に言い表されているように思います。「自分でできる子だ」とこちらが信じるから、子どもをコントロールしようとしなくなる
↓よけいなことを言わなくなる
↓お互いにイライラしなくなる
↓子どもも主体的に考えるようになる
↓言われなくてもできるようになる

ということです。逆の立場だったらどうでしょう？「大丈夫だよね。できるよね」と信じてもらえることがどんなにうれしく、やる気につながるか。信じれば信じる程、お子さまとのコミュニケーションはもっと楽になっていきますよ。